

2021年12月期第2四半期 決算説明会資料

2021年8月30日

株式会社ヒノキヤグループ
(東証1部：1413)



目次

1.	2021年12月期第2四半期	連結業績	> P 3
2.	2021年12月期第2四半期	事業別業績	> P 6
3.	2021年12月期第2四半期	通期業績見通し	> p 1 8
4.	2021年12月	事業別の取組み	> P 2 1
	Appendix		> P 3 4

1. 連結業績

・前期下期から受注が好調に推移、第2四半期の受注額が過去最高を更新する等、好調な住宅事業の業績が牽引、売上高も第2四半期の過去最高を更新

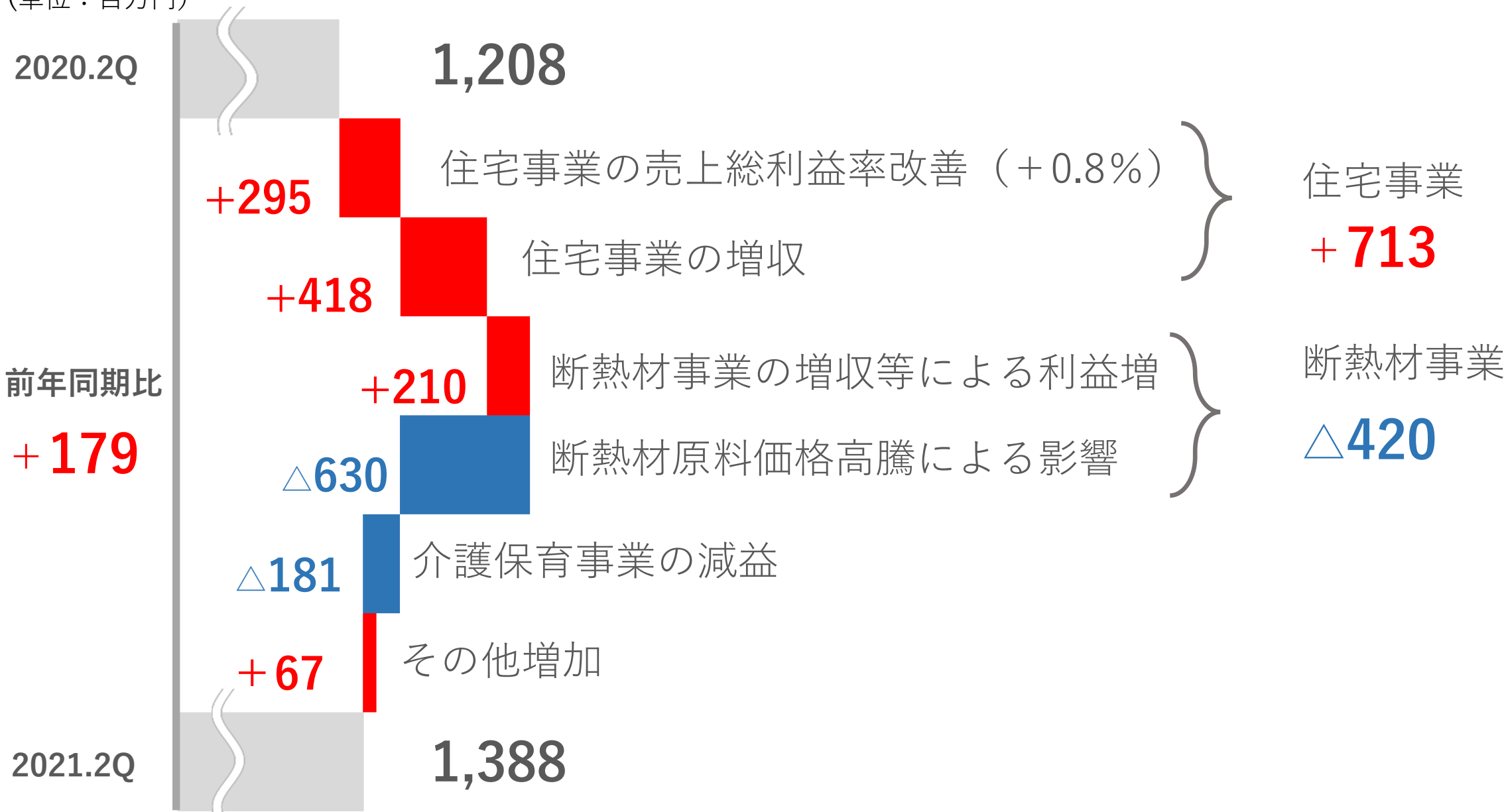
・利益面では、断熱材事業の原料高騰による影響があったものの、住宅事業の増収及び利益率改善等による利益増加により前年同期比で増益

親会社株主に帰属する当期純利益の計画比は、税効果及び固定資産売却益、投資有価証券売却益の計上による乖離

(百万円)	2021.2Q実績	2021.2Q計画	計画比 (%)	2020.2Q実績	前年同期比 (%)
売上高	51,420	50,000	+2.8	47,555	+8.1
営業利益	1,388	1,500	△7.4	1,208	+14.9
経常利益	1,358	1,500	△9.4	1,208	+12.4
親会社株主に帰属する四半期純利益	564	150	+276.1	396	+42.3
販売(売上)総棟数	1,512	—	—	1,388	+8.9

営業利益増減要因

(単位：百万円)



連結財政状態及びC/Fの状況

(百万円)	2021.2Q	2020	前期末比 (%)
総資産	73,200	73,880	△0.9
負債	47,697	48,300	△1.2
純資産	25,502	25,579	△0.3
有利子負債	16,092	18,751	△14.2
自己資本	21,586	21,501	+0.4
自己資本比率(%)	29.5	29.1	+0.4Pt
ネットD/Eレシオ	0.07	0.02	△0.05Pt

(百万円)	2021.2Q	2012.2Q	前期比(%)
営業C/F	259	△2,104	—
投資C/F	△483	△955	—
財務C/F	△3,531	8,339	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,618	15,123	△3.3

総資産減少の主な要因

現預金 36億81百万円減少
 未成工事支出金
 22億40百万円増加

負債減少の主な要因

未成工事受入金 50億19百万円増加
 借入金 24億94百万円減少
 →前年に実施した不測の事態に備えた
 借入金を返済

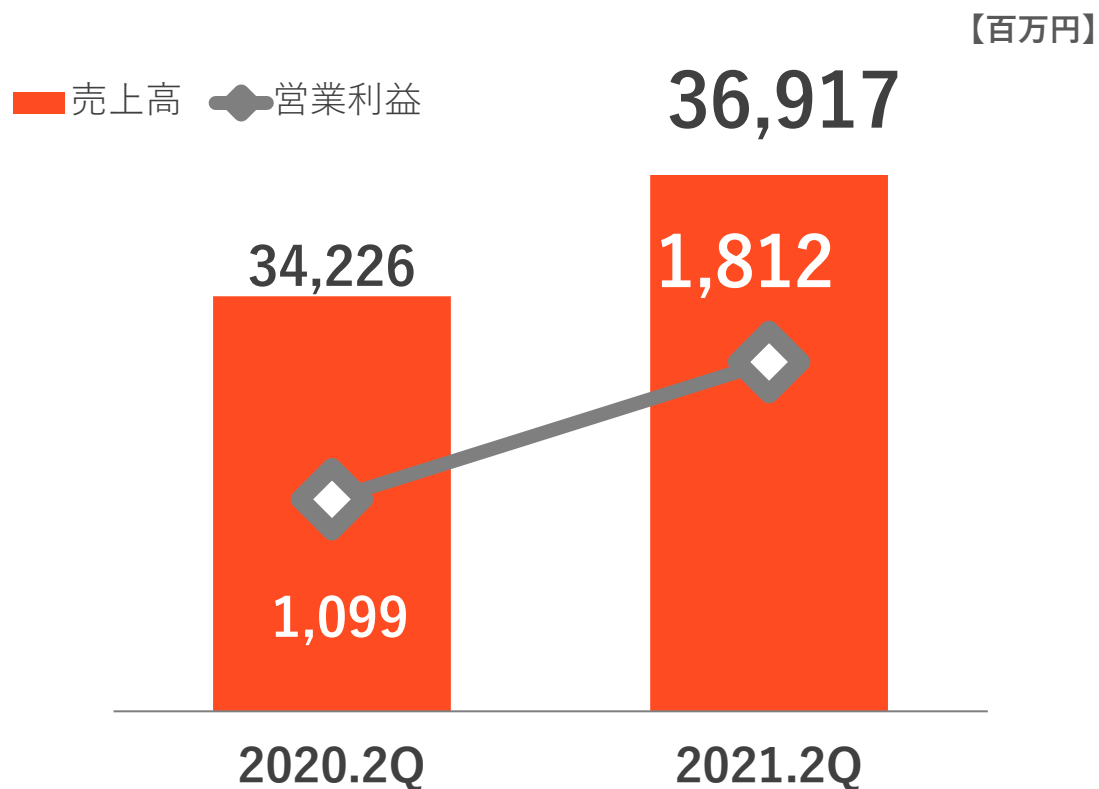
その他の減少要因

工事未払金 7億81百万円減少
 未払法人税 7億73百万円減少
 未払消費税 8億38百万円減少
 未払金 5億91百万円減少

2.事業別業績

(百万円)	売上高			セグメント利益		
	2021.2Q	2020.2Q	前年同期比(%)	2021.2Q	2020.2Q	前年同期比(%)
住 宅	36,917	34,226	+7.9	1,812	1,099	+64.9
不 動 産 投 資	1,532	309	+395.1	71	32	+120.4
断 熱 材	10,712	9,989	+7.2	325	746	△56.3
リ フ ォ ー ム	1,473	1,578	△6.6	82	109	△24.7
介 護 保 育	2,021	2,659	△24.0	18	199	△90.9
そ の 他	42	74	△43.9	△12	△7	—
連 結 調 整	△1,278	△1,281	—	△909	△971	—
連 結 合 計	51,420	47,555	+8.1	1,388	1,208	+14.9

住宅事業



【売上】 **36,917** 百万円 **+7.9%**

- 前年下期から続く好調な受注により今期の期首受注残は前期比+14.7%、桧家住宅、パパまるハウスともに順調に完成引渡しが推移し増収

【利益】 **1,812** 百万円 **+64.9%**

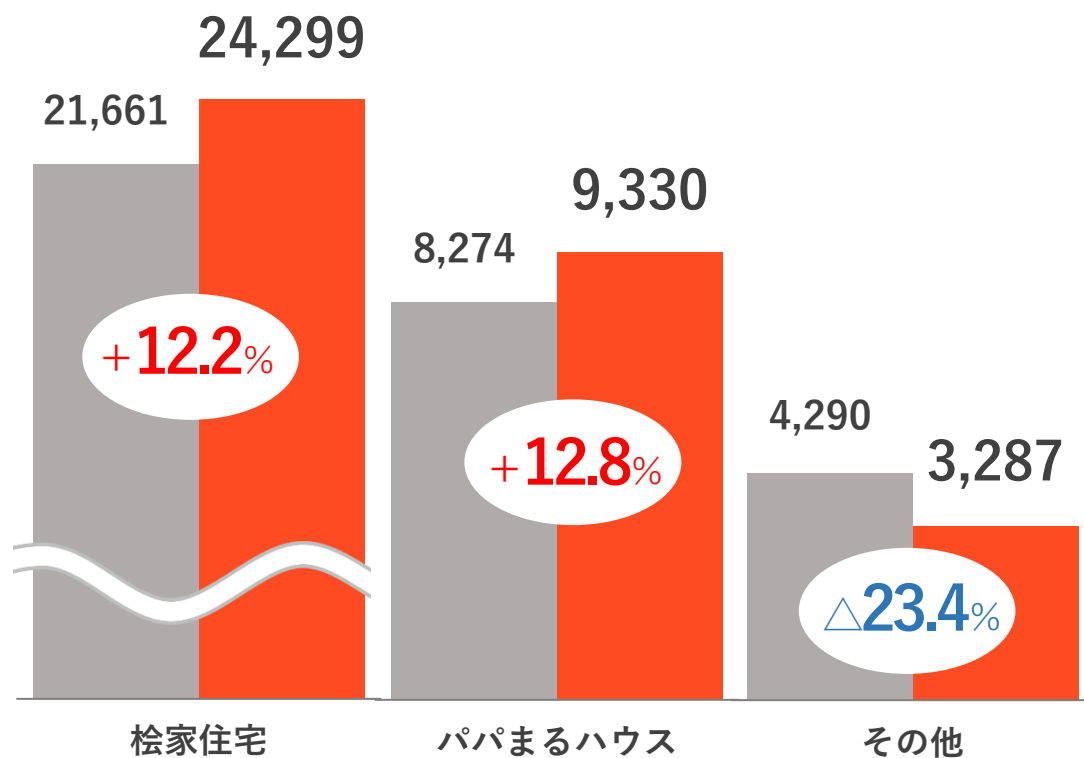
- 増収及び値引きの抑制やITを活用した業務効率化による売上総利益の改善、販管費削減による利益増加で前年同期を大幅に上回る
- 当第2四半期はウッドショックによる影響軽微

ブランド別 売上内訳

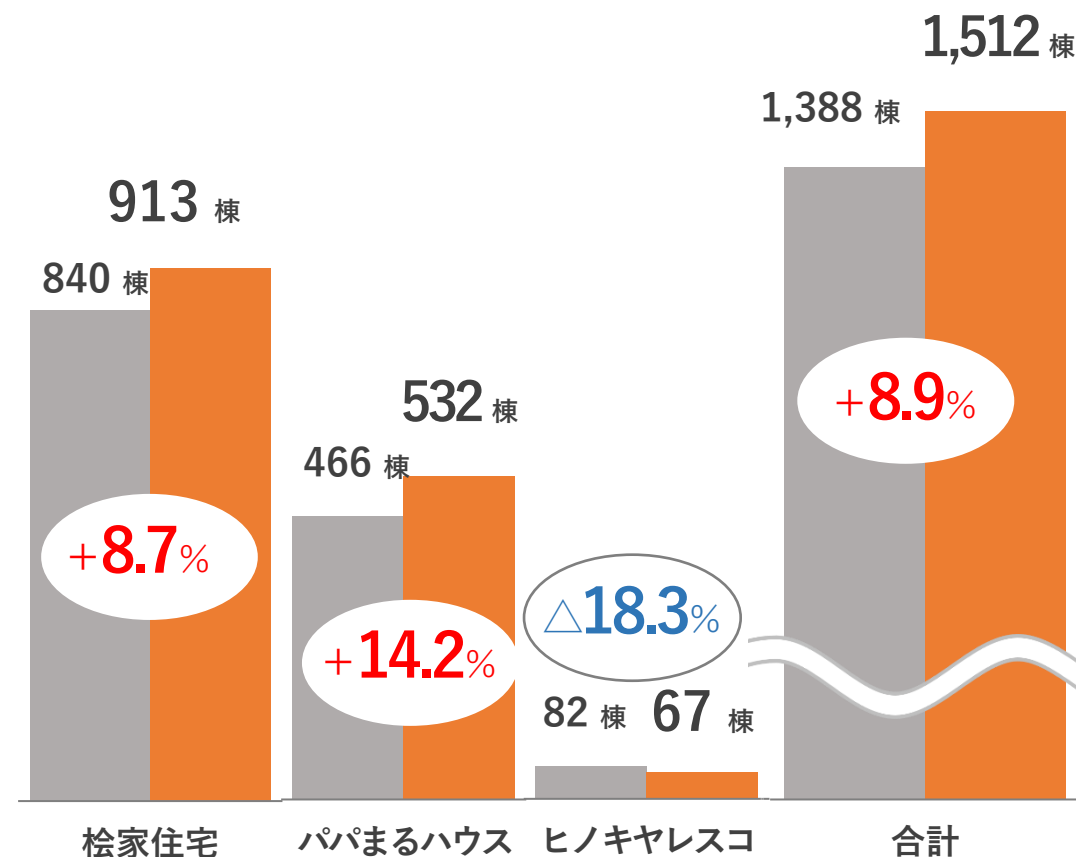
桧家住宅の売上高 +12.2%、パパまるハウス売上高 +12.8%

売上高

単位：百万円



販売棟数



2020.2Q

2021.2Q

受注ルート内訳

WEB

探客

来場予約

資料請求

特約店

オーナー

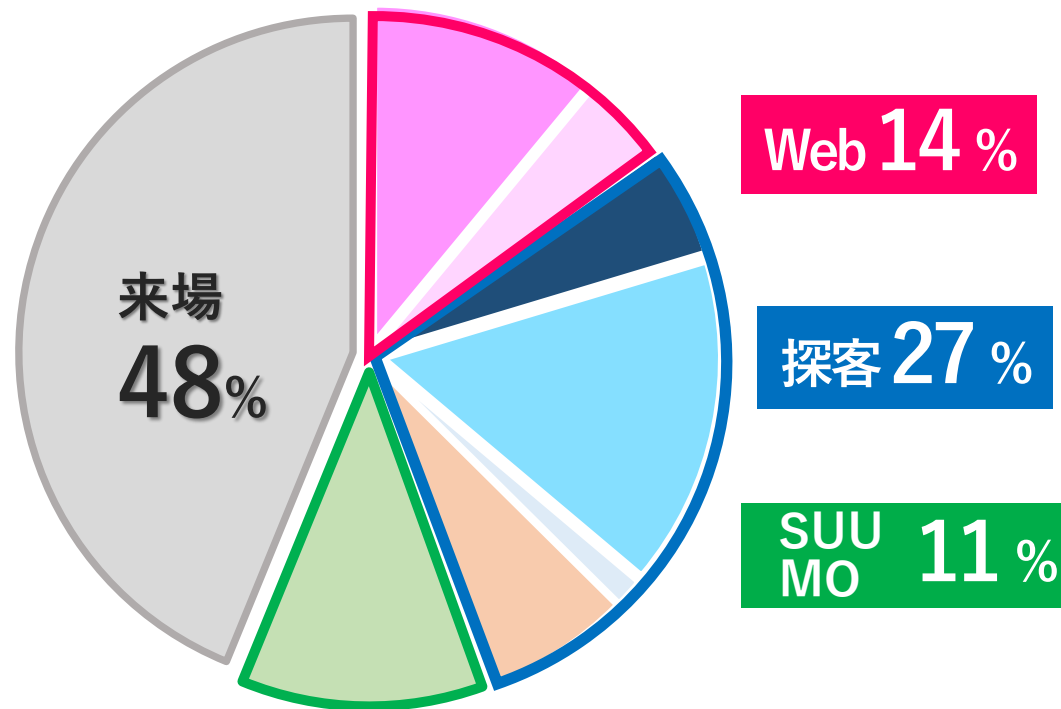
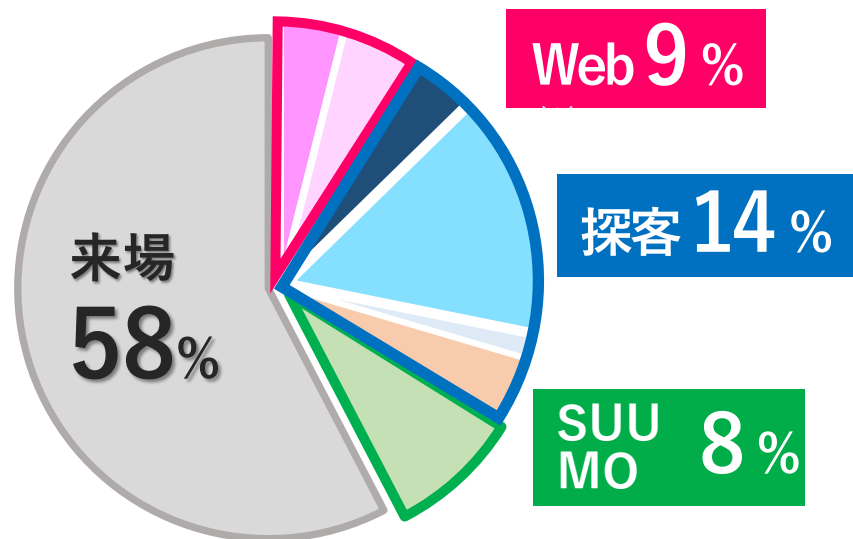
業者

その他

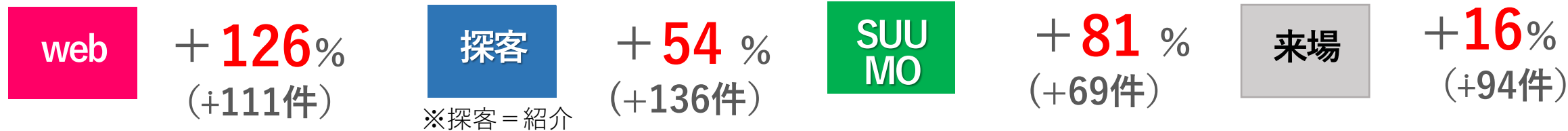
SUUMOなど

来場

●受注内訳構成比

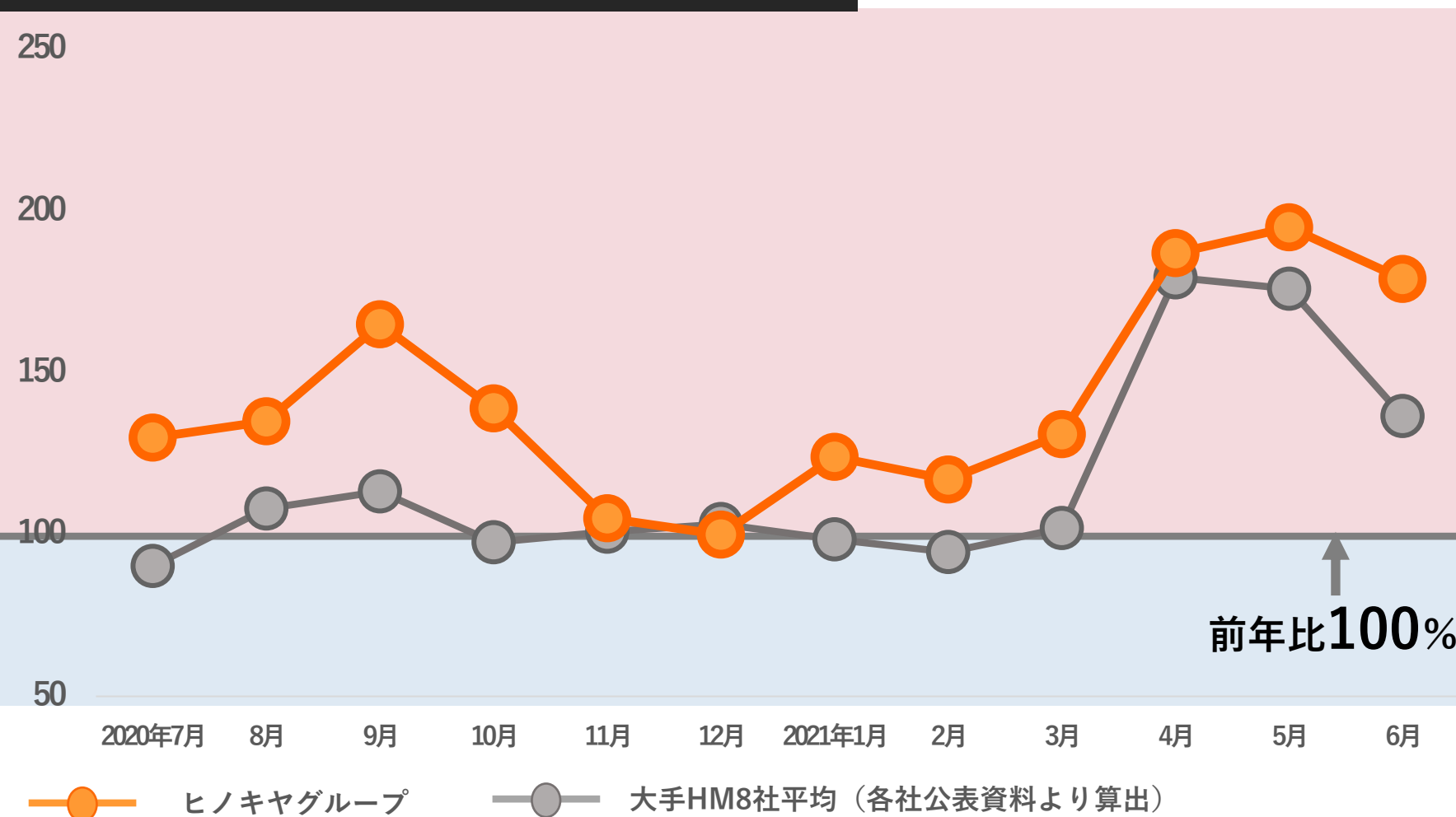


●前年同期比増加率



Web、探客(紹介)、SUUMOからの受注が来場（対面）を上回る

受注金額（月次・前年比）



前年7月より業界平均を上回る受注水準が継続

住宅ブランド別 受注状況

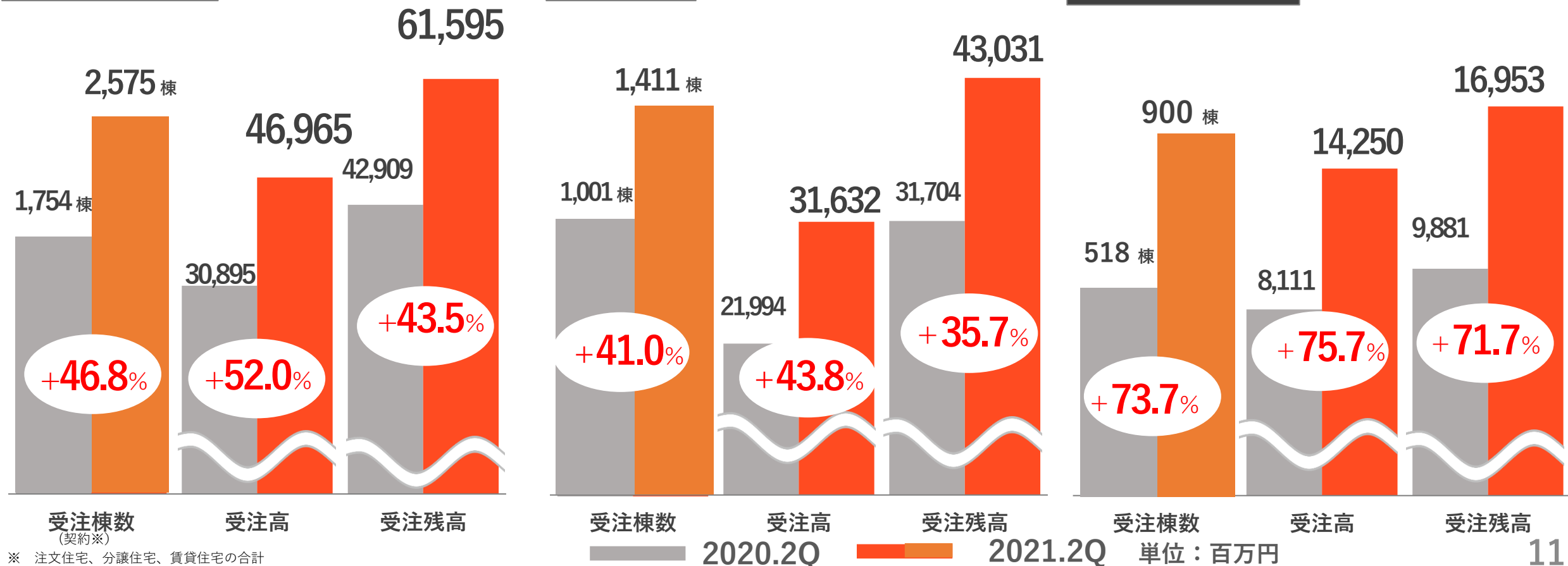
【注文住宅】

受注は **6ヶ月連続** で前年同月を上回り好調に推移、全ブランドで前年同期を大幅に上回る
2Q累計では過去最高を更新 受注棟数 + **52.2%**、受注高 + **52.0%**、受注残高 + **43.5%**

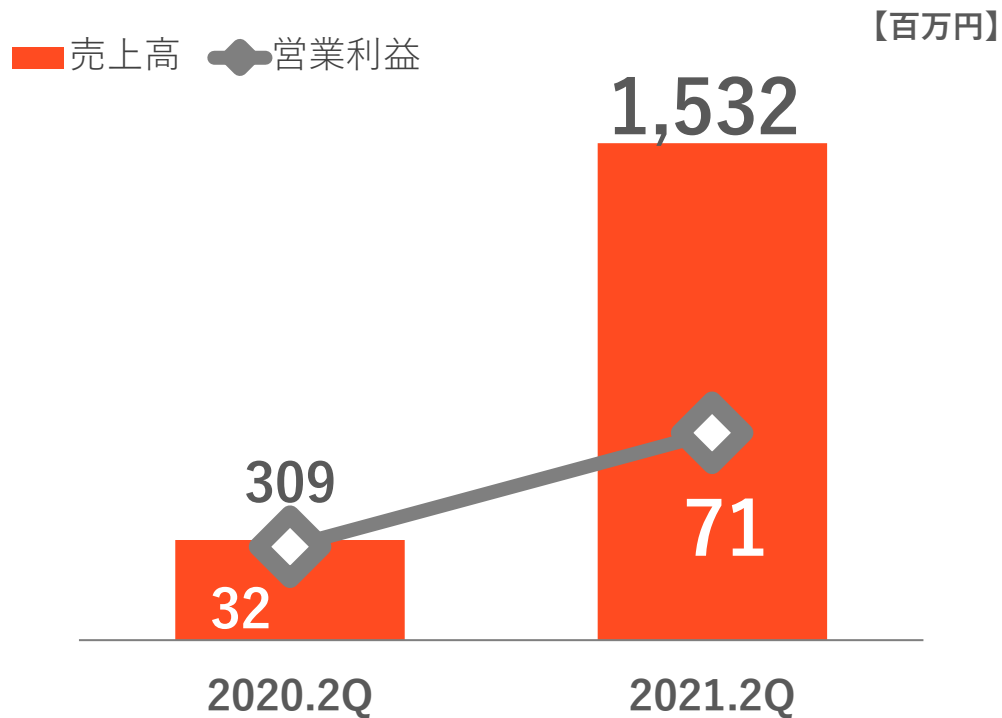
連結受注合計

桧家住宅

パパまるハウス



不動産投資事業



【売上】 1,532 百万円 + 395.1%

- ・収益物件販売が回復、3件(主に賃貸不動産)成約
前年同期は0件
- ・ホテル事業は引き続きコロナの影響で8施設中3施設を休業、その他も運営規模を縮小しコストを抑制

【利益】 71 百万円 + 120.4%

- ・増収による利益の増加、ホテル運営コストを抑制

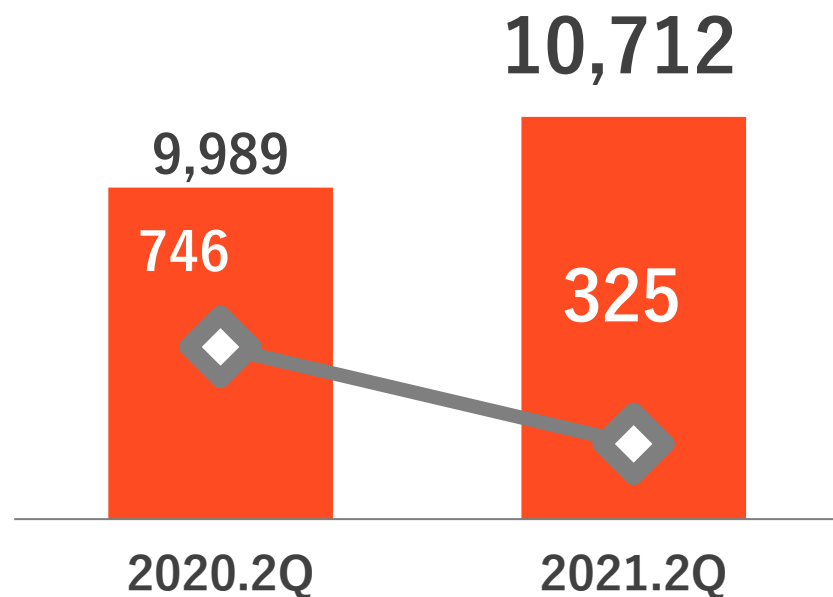
売上内訳 (百万円)	物件売却収入		賃貸収入		ホテル収入		その他	
	実績	前年同期比(%)	実績	前年同期比(%)	実績	前年同期比(%)	実績	前年同期比(%)
売上高	1,216	—	208	+4.4	58	△12.4	48	+13.2

販売用不動産残高 (百万円)	実績	前期末比 (%)	うちホテル	
			実績	前期末比(%)
	8,606	+10.5	5,422	△2.1

断熱材事業

■売上高 ◆営業利益

【百万円】



【売上】 **10,712** 百万円 **+7.2%**

- ・戸建部門はコロナの影響があったものの積極営業展開で受注増加
- ・建築物部門はゼネコン向けの断熱・耐火工事の受注増加

【利益】 **325** 百万円 **△56.3%**

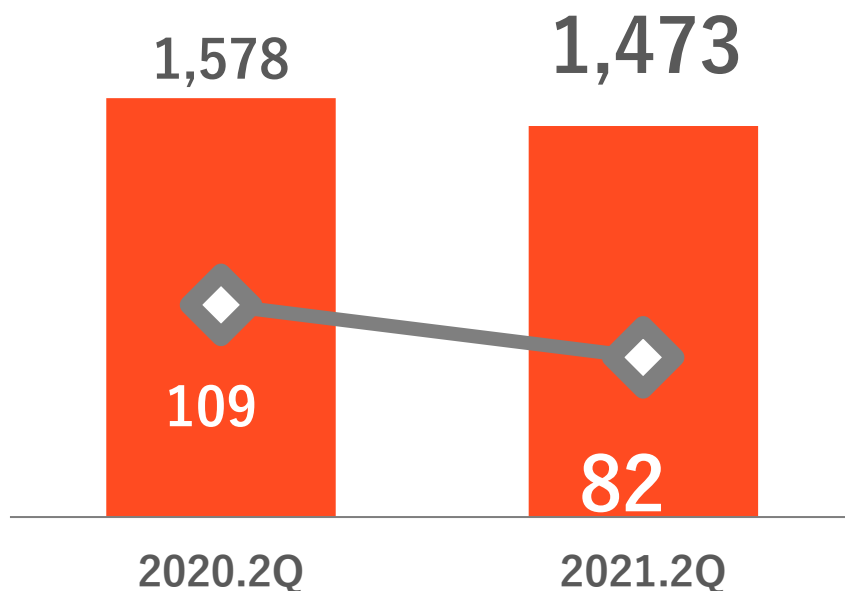
- ・米国・中国の景気回復に伴う需要増加等によりウレタンの原料価格が急騰し前年同期を大幅に下回る

売上内訳 (百万円)	戸建施工		建築物施工		その他	
	実績	前期比 (%)	実績	前期比 (%)	実績	前期比 (%)
売上高	6,249	+ 2.7	2,349	+ 14.8	2,113	+ 13.6
施工戸数(戸)	23,3716戸	+ 1.3	1,858,861m ²	+ 10.6	—	—
施工面積(m ²)						

リフォーム事業

■売上高 ◆営業利益

【百万円】



【売上】 1,473 百万円 $\triangle 6.6\%$

- ・ コロナの影響で注文住宅オーナーへの定期点検、外構、リフォーム提案など対面の営業が制限され減収

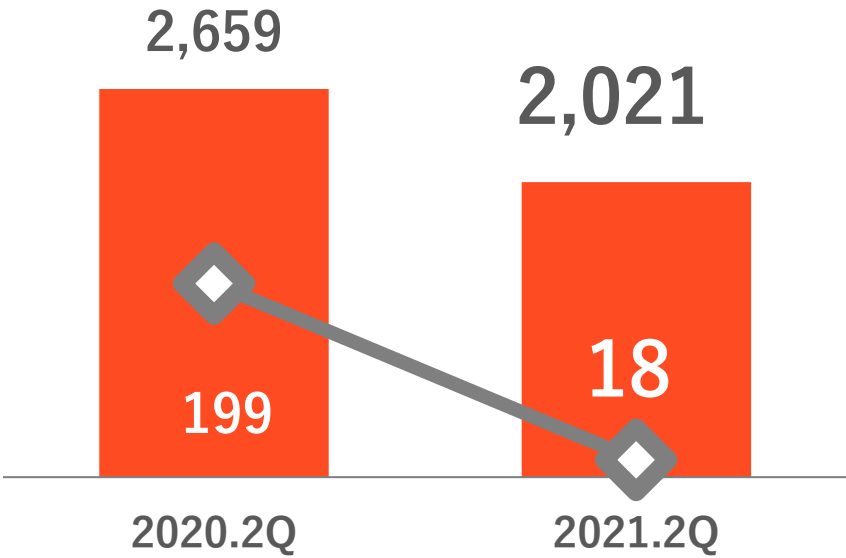
【利益】 82 百万円 $\triangle 24.7\%$

- ・ 減収による利益の減少

売上内訳 (百万円)	リフォーム		エクステリア		その他	
	実績	前期比 (%)	実績	前期比 (%)	実績	前期比 (%)
売上高	660	+ 1.9	458	$\triangle 17.0$	354	$\triangle 6.1$
	実績	前期比 (%)				
受注残高 (百万円)	607	+14.2				

介護保育事業

■ 売上高
 ◆ 営業利益
 【百万円】



売上内訳 (百万円)	介護		保育	
	実績	前年同期比 (%)	実績	前年同期比 (%)
売上高	58	△90.1	1,963	△5.2

【売上】
2,021 百万円
 △24.0%

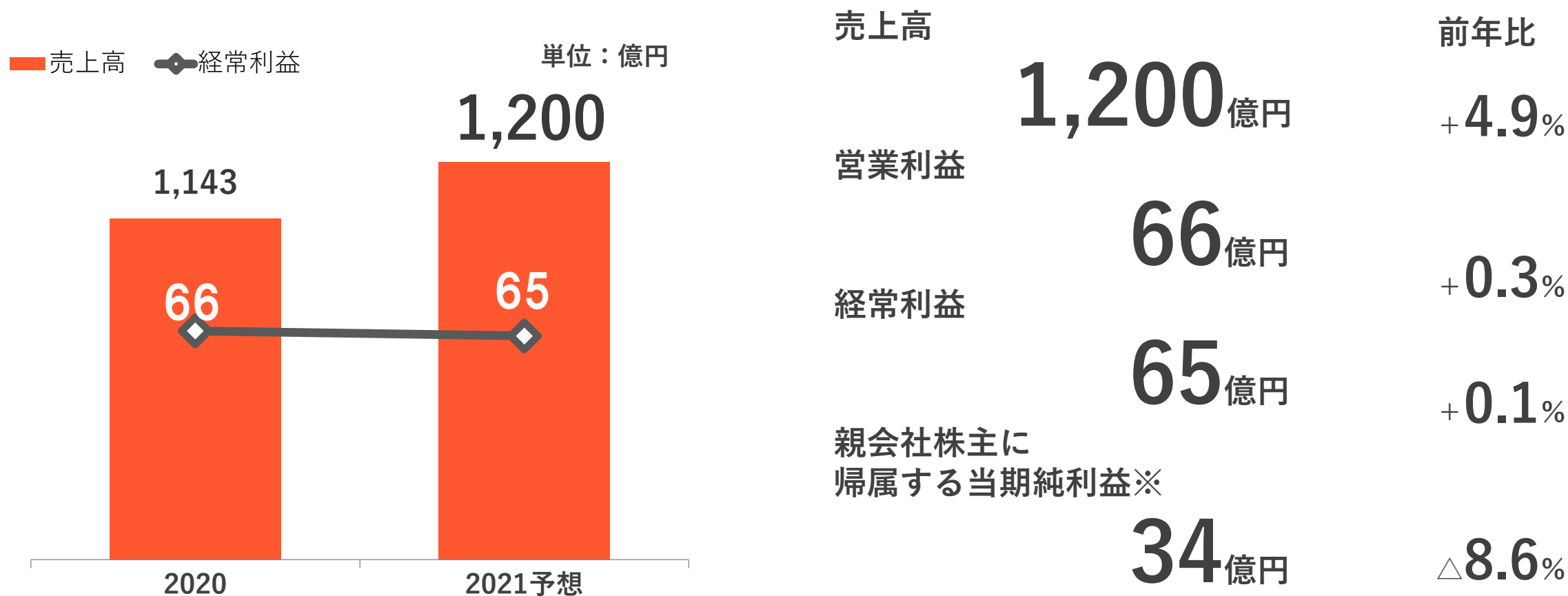
- コロナの影響で認証保育園において0~1歳児の利用者が減少及び前年12月に老人ホーム4施設を譲渡したことにより減収

【利益】
18 百万円
 △90.9%

- 減収に加え、前年同期はコロナの影響で保育施設休園、イベント自粛し変動費が抑制されるも、当期は通常運営に戻り、変動費が増加したことで前年同期を大幅に下回る

3. 2021年12月期業績見通し

- ・ 子会社である株式会社日本アクア（東証1部、証券コード1429）が断熱材の原料高騰を理由に通期業績予想を修正したことを踏まえ業績予想を下方修正
- ・ ウッドショックの影響は当第2四半期は軽微であるものの通期への影響は不透明



事業別業績見通し、コロナの影響等	
住宅事業	引続き受注が好調に推移、第2四半期の受注は過去最高更新。一方で米国や中国における住宅需要拡大等を背景に世界的な木材の価格高騰、供給不足となる「ウッドショック」が発生、コストアップが懸念されるが、商品毎に価格を見直し、適正に価格転嫁。 利益面では、引続き受注利益の改善、工期平準化への取組みを推進、業務効率化や事業全体の販売管理費を削減する等ウッドショックによる損益への影響を最小限に抑える。
不動産投資事業	収益物件販売は足元の需要が堅調に推移、都心の優良物件に絞り物件を取得、販売。不動産特定共同事業の許認可取得、新規ビジネスとして不動産小口化ビジネスに着手。コロナの影響でホテル事業は引続き事業規模縮小等により運営コストを抑制。
断熱材事業	戸建、建築物ともに受注が好調に推移するも米国及び中国の景気回復に伴う需要増加でウレタンの原料価格が高騰、原料価格は徐々に下落する見通しであり、また、利益改善策として国内、国外メーカーからの分散調達、従来製品より原料使用量を30%削減できる「アクアフォームLITE」への切替を進め利益改善に繋げる。
リフォーム事業	住宅事業との連携を強化しエクステリア受注増加を図るとともに、引渡後オーナーへの定期点検（10年、15年）を強化、リフォーム需要の掘り起しによるリフォーム受注を拡大。
介護保育事業	老人ホーム4施設の事業譲渡。コロナの影響で認証保育園において稼働率が低下。人員配置の最適化、運営コストの抑制に努め利益改善に繋げる。

2021年12月期セグメント別業績見通し

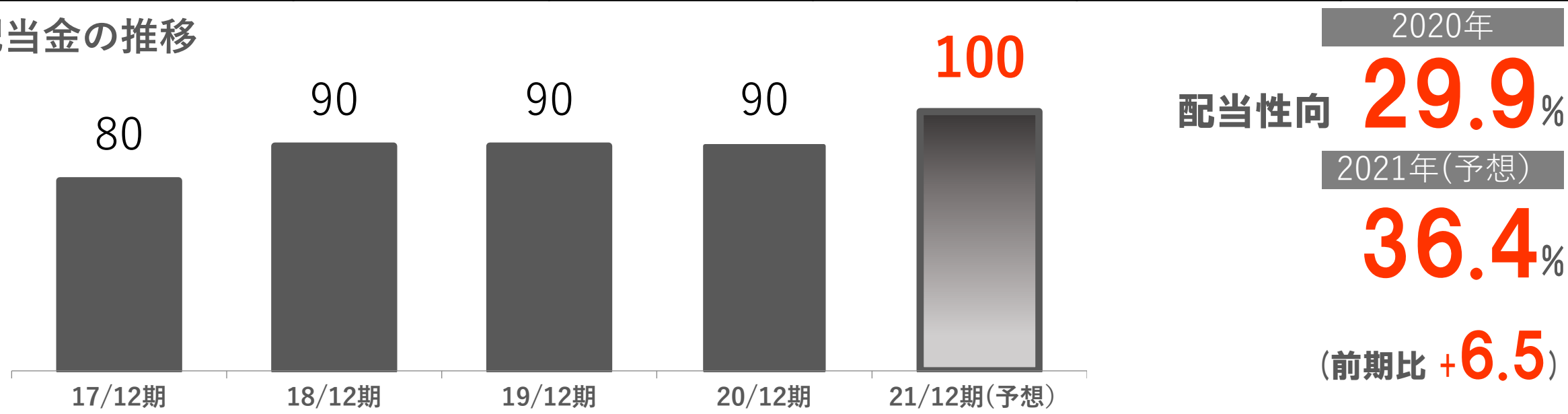
単位：百万円	売上高	前期比（％）	営業利益	前期比（％）
住 宅	88,550	+3.6	6,740	+8.0
不動産投資	2,690	+140.4	100	+258.7
断 熱 材	23,510	+7.5	1,456	△21.5
リフォーム	3,800	+14.4	260	+15.0
介 護 保 育	4,150	△20.3	110	△29.4
連 結	120,000	+4.9	6,648	+0.3

2021年12月期の配当予想及び配当金の推移

- ◆ 中間・期末配当**50**円、年間配当**100**円、年間**10**円増配し、
- ◆ 配当性向**30**%以上を目標に引き続き安定した配当を実施する方針

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末（予想）	合計
2021年	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 100.00
2020年	円 銭 —	円 銭 45.00	円 銭 —	円 銭 45.00	円 銭 90.00

◆配当金の推移



新市場区分「プライム市場」への適合状況に関する 一次判定結果について

当社は、2022年4月実施予定の市場区分の見直しにおいて、株式会社東京証券取引所より「新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果」を受領し、新市場区分「プライム市場」の上場維持基準への適合を確認しました。

なお、本年9月より予定されている新市場区分の選択手続きについては、取締役会において協議のうえ決定し、改めてご報告いたします。

今後も株主の皆様には支持されるよう努力を続けていくとともに、ガバナンスの強化に引き続き取り組んでまいります。

4. 2021年12月期 事業別の取組み

2021年4月よりコーポレートロゴ改定

人と人との“ 温もり”を感じさせるオレンジ色はこれまで通り継承し、「HINOKIYA」の表記を文字幅の広い文字にすることで視認性を高め、より存在感のある企業へと成長していくことを表しています。

◆メインロゴ



◆サブカラーロゴ



◆白抜きロゴ



住宅事業

Z空調（全ブランド対応）

2016年12月発売
【累計受注棟数】

16,000 棟

※2021年6月末日時点

新型コロナウイルス感染症により、
家で過ごす時間が増え、
Z空調の「快適さ」が改めて注目され
受注が好調に推移

Z空調

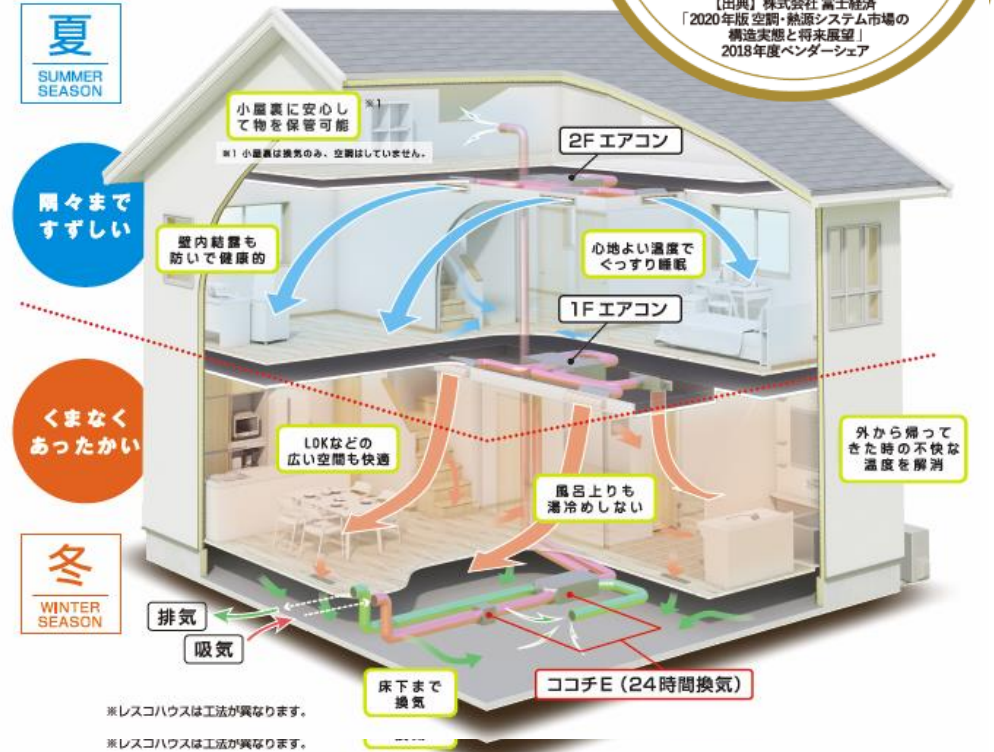
— ゼックウチョウ —

夏
SUMMER
SEASON

開々まで
すずしい

くまなく
あったかい

冬
WINTER
SEASON



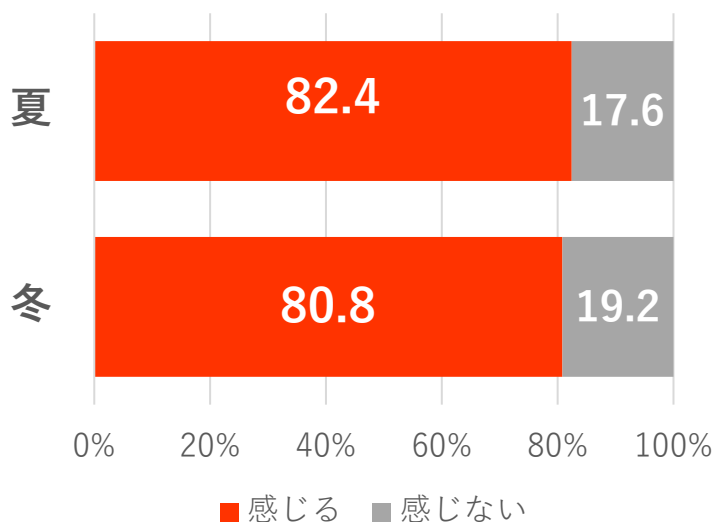
夏暑くて、冬寒い。
日本の家の常識を変えていく。

室温に関する調査実施

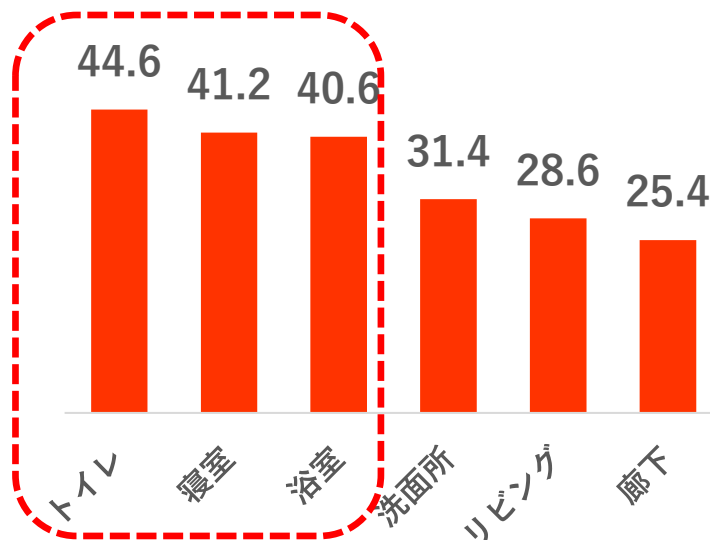
- 1.戸建に住む8割が1年中、室温のストレスに耐えて生活している
- 2.トイレ、寝室、浴室…家の隅々まで室温管理が不十分
- 3.夏も冬も光熱費が心配

全国の一戸建てに住む20代から40代の500名を対象、単位：％

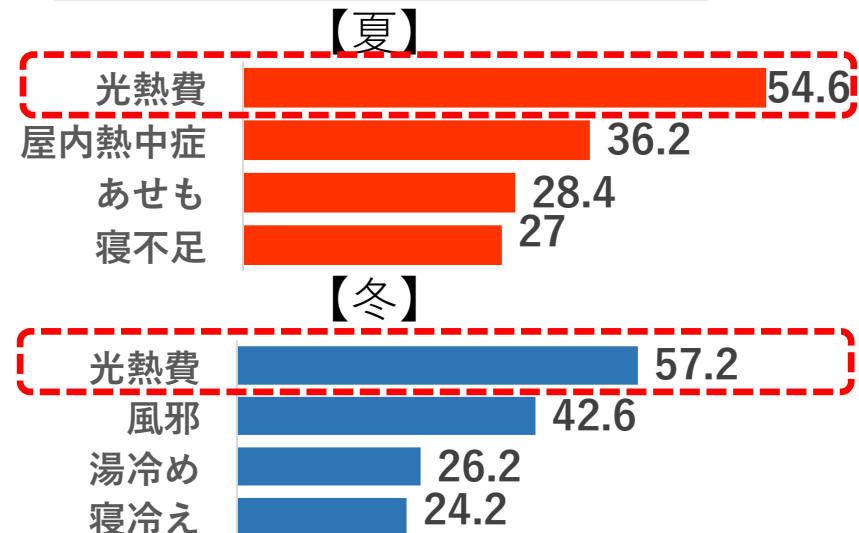
1.夏・冬のストレス



2.ストレスを感じる場所



3.住宅の室温に対する心配



住環境における室温は居住者の健康へ影響することがわかっており、WHOが発表したガイドライン※1でも、適切な温度管理が推奨されている

※1WHO Housing and health guidelines

Z空調なら でも電気代が変わらない。

Z空調オーナー電気代公開

冬 〈12月・1月・2月〉



家中
くまなく
あたたかい

月平均

9,319 円

■「Z空調」のみの電気代平均

12月	1月	2月
8,195 円	11,097 円	8,666 円

夏 〈7月・8月・9月〉



家中
くまなく
すずしい

月平均

3,348 円

■「Z空調」のみの電気代平均

7月	8月	9月
2,798 円	4,781 円	2,464 円

連続
運転

24
時間

年間通しての
月平均

4,721 円

家中心地よい、しかも経済的。

Z空調体感ラボ ZOOON 埼玉開設

年間を通して真冬の環境を再現、「ZEHの家（壁掛けエアコン）」と「Z空調の家」の違いを体感
 「体感ROOM」をサーモグラフィで可視化し、室温の数値データを比較可能
 新設した埼玉ZOOONでは、「真夏」の環境も体感可能

Z空調体感ラボ
 ZOOON
 — 埼玉 —

ZEHの家(壁掛けエアコン)	Z空調の家
壁掛けエアコン 部屋ごとの空調 間欠運転 1. 人がいるところだけ空調 2. 第三種換気 壁に設けた吸気口から自然給気するため冷たい外気が入る	Z空調 家中まるごと空調 24時間連続運転 1. 廊下、脱衣室、トイレも含め家中まるごと空調 2. 第一種換気 床下も含め換気し、全熱交換された空気を取り込む

ZEH仕様



Z空調仕様 外気温 1℃





2020年
栃木開設
2021年

埼玉（蓮田市）開設

2022年
新たに**2カ所** 計画

茨城県 つくば市

宮城県 仙台市

セレクトエリア



- ヒノキヤオリジナル、プロが選ぶ **11** パターンのインテリア提案
- 床、建具、壁紙、キッチン、食器棚などをトータルコーディネート
- 家具もインテリアに合わせて提案

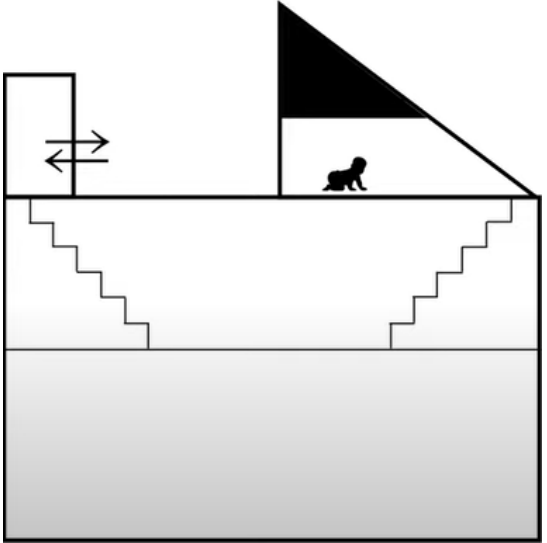
新商品

Atelier
——アトリエ——

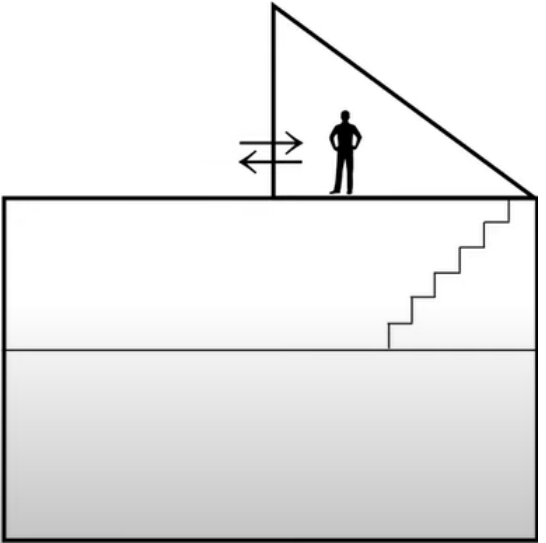
アトリエのメリット

	2階建て 小屋裏収納＋青空リビング	アトリエ3階建て
小屋裏部屋の用途	収納のみ 天井高さ1.4メートル	部屋使い可能
青空リビングの出入り	不可	可能
階段	2カ所	1カ所
塔屋	必要	不要
固定資産税	小屋裏収納参入無し	3階も参入
建築コスト	アトリエとほぼ同じ	一般的な3階建てより安い

小屋裏収納＋青空リビング



アトリエ
(小屋裏収納＋青空リビング)



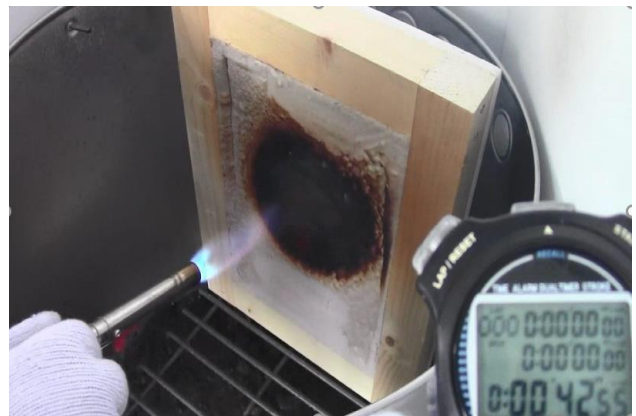
断熱材事業

現場発泡断熱シェア **NO.1**
アクアフォーム

原料使用率30%削減
アクアフォームLITE
→2021年6月より順次切替開始



不燃・防火断熱材アクアモエン



2020年7月特許登録
(特許登録番号:6725606)

超硬化防水アクアハジクン

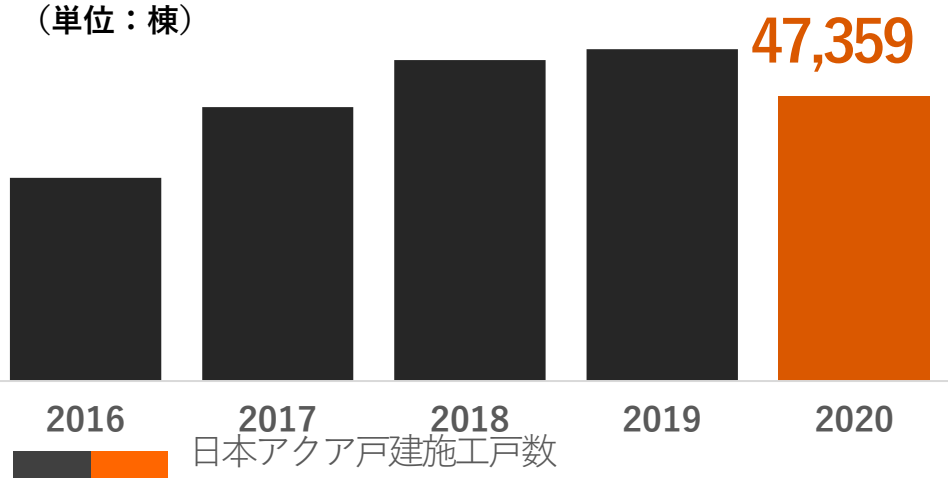


JASS 8 防水「初期性能試験」合格
木造構造「飛び火認定試験」合格

2020年新築戸建住宅シェア

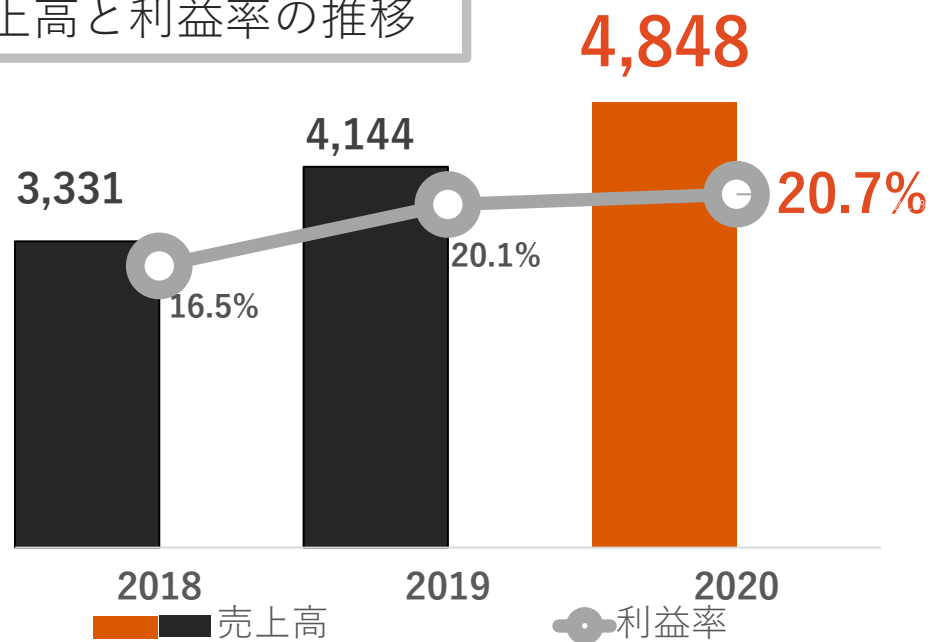
約**10%**

(単位：棟)



建築物売上高と利益率の推移

(単位：百万円)



リフォーム事業

「ヒノキヤオーナーズ App」ローンチ
ユーザビリティが大きく向上

修理依頼は写真投稿で、問合せはチャット対応 etc...

→リフォーム需要掘り起し

→顧客満足度向上により住宅事業への紹介増加を図る

10年点検強化

コロナの影響を受けるも点検実施率は微増

	2020年	前期比
10年点検の実施率	71%	+ 6%
受注獲得率	26%	+ 1%

高付加価値、安心して暮らせる住まいを提供
最長30年長期保証へ



ヤマダHDグループとの取り組み

1. 2021年1月 Z空調を  **YAMADA HOMES** で販売開始
2. 住宅顧客に住宅と家電、家具をセットで提案
3.  **YAMADA NEOBANK** と提携



HINOKIYA

ヤマダデンキ・大塚家具で取扱っている

ホーディングス
ヤマダHDグループ
だから実現!

**家具・家電が
住宅とセットで
買えます!**

 **YAMADA**  **IDC OTSUKA**

家電には  **安心の
無料長期保証
付帯!**

メーカー保証 **ヤマダ保証**
1年間 + 10年間・5年間・3年間

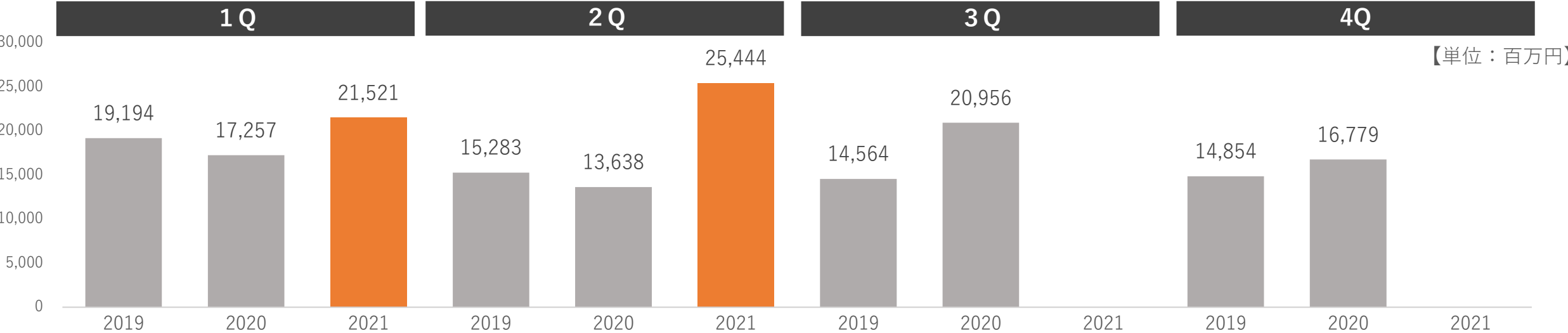
※指定機種が対象

※家具・家電の画像はイメージです。

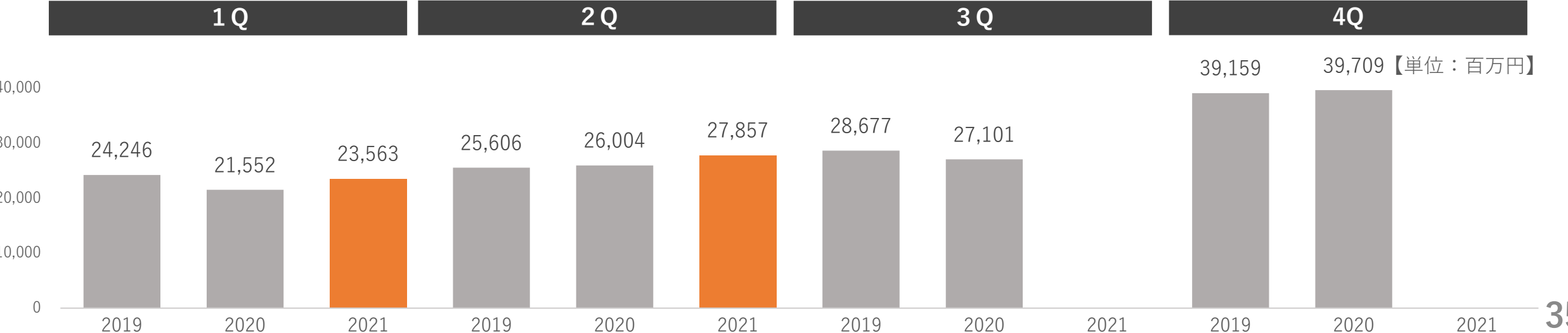
appendix

四半期業績推移

● 注文住宅受注高推移



● 連結売上高推移



住宅セグメントカテゴリー、ブランド別内訳

● 2020年12月期第2四半期 売上高

単位：百万円

	桧家住宅		パパまるハウス		ヒノキヤレスコ		日本ハウジングソリューション		合計	
	実績	前年同期比(%)	実績	前年同期比(%)	実績	前年同期比(%)	実績	前期比(%)	実績	前年同期比(%)
注文住宅	19,828	+11.5	7,623	+21.7	580	△48.1	—	—	28,032	+11.4
戸建分譲住宅	2,496	△12.2	1,590	△15.3	101	—	—	—	4,187	△11.3
賃貸住宅	—	—	—	—	1,298	△30.9	—	—	1,298	△30.9
FC/Z空調外販	—	—	—	—	—	—	940	△1.0	940	△1.0

● 2020年12月期第2四半期 販売棟数

単位：棟

	桧家住宅		パパまるハウス		ヒノキヤレスコ		合計	
	実績	前年同期比(%)	実績	前年同期比(%)	実績	前年同期比(%)	実績	前年同期比(%)
注文住宅	849	+10.8	469	+19.9	14	△ 53.3	1,332	+12.2
戸建分譲住宅	64	△ 13.5	63	△ 16.0	2	—	129	△ 13.4
賃貸住宅	—	—	—	—	51	△1.9	51	△1.9

● 2020年12月期第2四半期 1棟当たり販売価格

単位：万円

	桧家住宅		パパまるハウス		ヒノキヤレスコ	
	実績	前年同期比(%)	実績	前年同期比(%)	実績	前年同期比(%)
注文住宅	2,335	+ 0.6	1,625	+1.4	4,145	+11.3

2030ビジョン

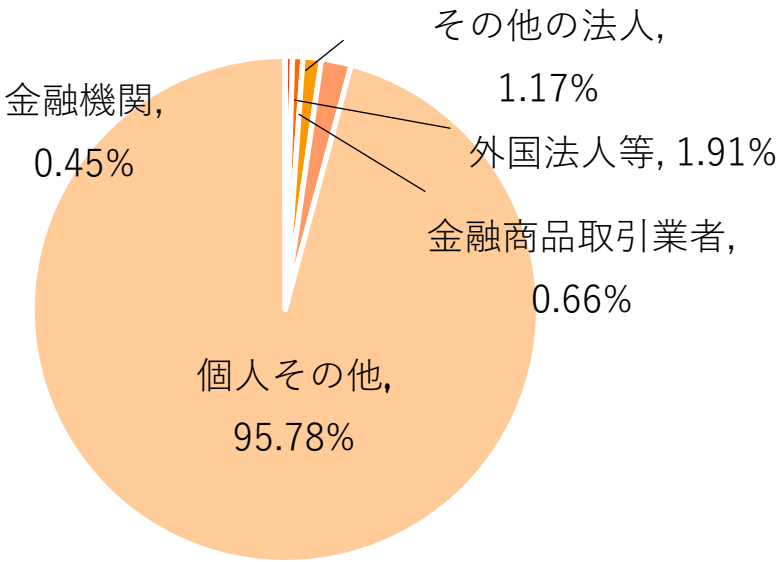
- ・我々は、日本の住環境を劇的に変え、日本人の暮らしの質を世界標準にまで向上させます
- ・我々は、業界トップの働きやすい環境と高い生産性を達成します
- ・我々は、他に類を見ないビジネスモデルの更なる構築に向けて、創造と挑戦を繰り返します
- ・我々は、独創的かつ持続的な価値を提供する社会貢献企業を目指します

会社概要

(2021年8月27日現在)

商号	株式会社ヒノキヤグループ
設立年月日	1988年10月13日
本社所在地	東京都千代田区丸の内1-8-3 丸の内トラストタワー本館7階
代表者	代表取締役社長 近藤昭
資本金	389百万円
発行済株式数	13,575,000株
事業内容	住宅、不動産投資、断熱材、 リフォーム、介護保育、その他
証券コード	1413
単元株数	100株
連結子会社数	11社
従業員数 (2021年12月末日現在)	連結 3,058人

株主構成 (所有者別株主数分布状況)



株価 (2021/8/27)	2,292円	PBR	1.3倍
時価総額	311億円	PER	8.3倍
配当利回り	4.4%	ROE	18.8%

※ 1 株価及び時価総額は2021年8月27日終値
※ 2 配当利回りは2021年年間配当予想額1株あたり100円
※ 3 PERは2021/12期予想、PBR、ROEは2020年12月期実績

事業セグメント

HINOKIYA

ヒノキヤグループ（持株会社）

住宅事業

- ・注文住宅の請負
- ・戸建分譲住宅販売
- ・土地分譲仲介
- ・賃貸住宅の請負
- ・注文住宅フランチャイズ
- ・Z空調の外部向け販売

桧家住宅
パパまるハウス
ヒノキヤレスコ
Hinokiya Vietnam
桧家住宅東海
日本ハウジングソリューション

不動産投資事業

- ・収益物件販売
- ・ホテル開発
- ・不動産賃貸

フュージョン資産
マネジメント
まいすまい
ヒノキヤグループ

断熱材事業

- ・発泡断熱材及び住宅省エネルギー関連部材の開発、製造、販売、施工

日本アクア
(東証1部コード: 1429)
AQUAFOAM ASIA
ASSOCIATES

リフォーム事業

- ・住宅のリフォーム工事、外構工事の請負

桧家リフォーミング

介護保育事業

- ・高齢者向け住宅の運営
- ・保育所、学童施設等の運営

ライフサポート
PURE SOLUTIONS

その他

- ・損害保険、生命保険代理店
- ・旅行代理店
- ・海外事業

ヒノキヤグループ
(CR事業、海外事業)
HINOKIYA RESCO
CONSTRUCTION
VIETNAM CO., LTD.
他

グループ事業変遷



売上高

2020年

● ヤマダHDによる
TOB成立、子会社化

2019年

● まいすまい設立

2018年

● 日本ハウジングソリューション設立
● ハウジーホームズ子会社化 (現 桧家住宅)

2016年

● Z空調発売
● レスコハウス子会社化 (現 ヒノキヤレスコ)

2015年

● ヒノキヤベトナム設立

2014年

● 北都ハウス工業子会社化 (現 パパまるハウス)
● ライフサポート子会社化
● フュージョン資産マネジメント設立

2013年

● 日本アクアマザーズ上場

2012年

● 青空リビング発売

2011年

● 三栄ハウス子会社化 (現 桧家住宅)
● 池田住販子会社化 (現 桧家住宅)

2009年

● 日本アクア子会社化
● ランデックス子会社化 (現 ヒノキヤレスコ)
● HDカンパニー化
● フランチャイズ事業開始

2008年

● 石塚建設工業、
住宅建設子会社化 (現 桧家住宅)
● スマート・ワン発売

2007年

● 名証2部上場

(2018年4月発表)

■ 売上高 ● 経常利益



5,300 棟

高上売

2,000 億円

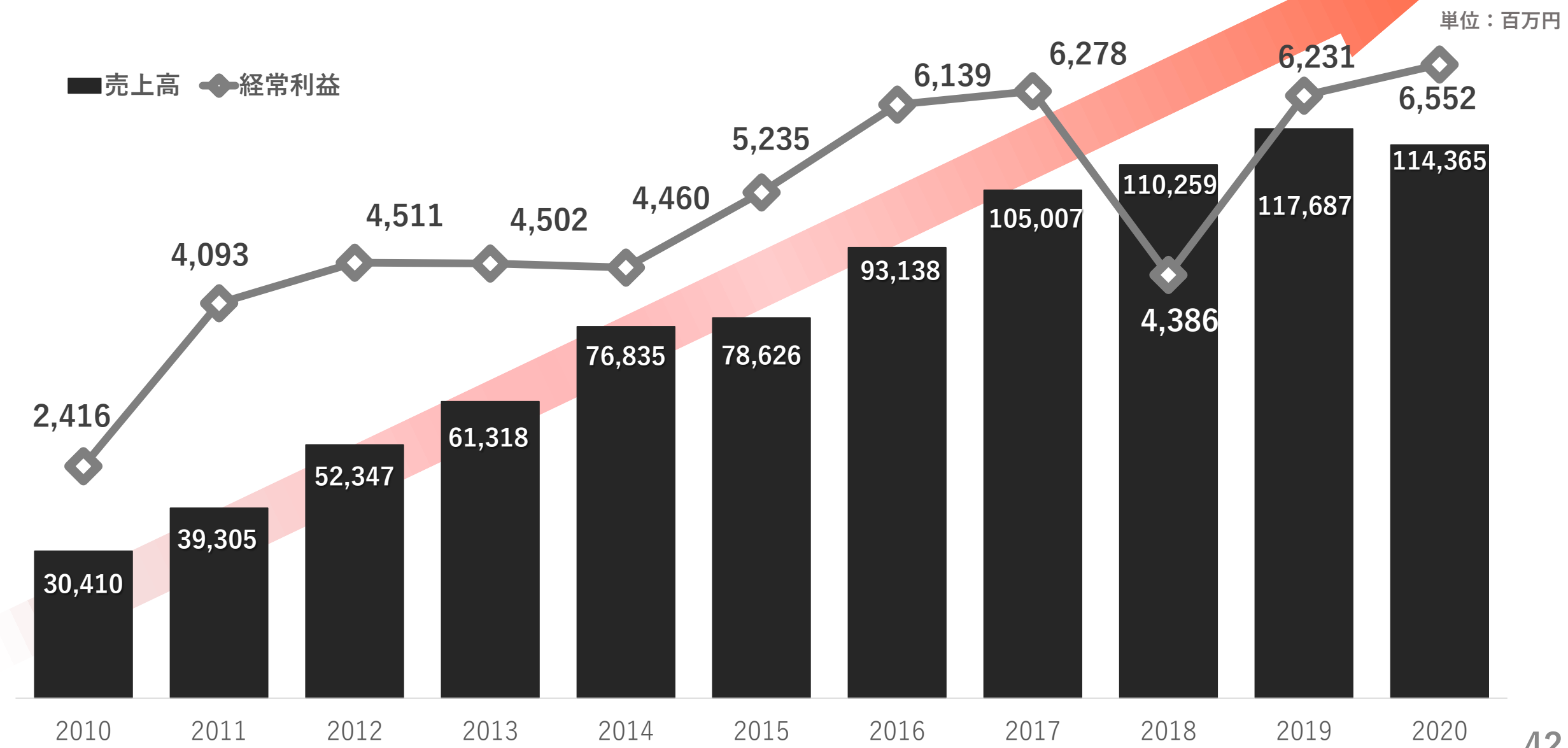
經常利益

150 億円

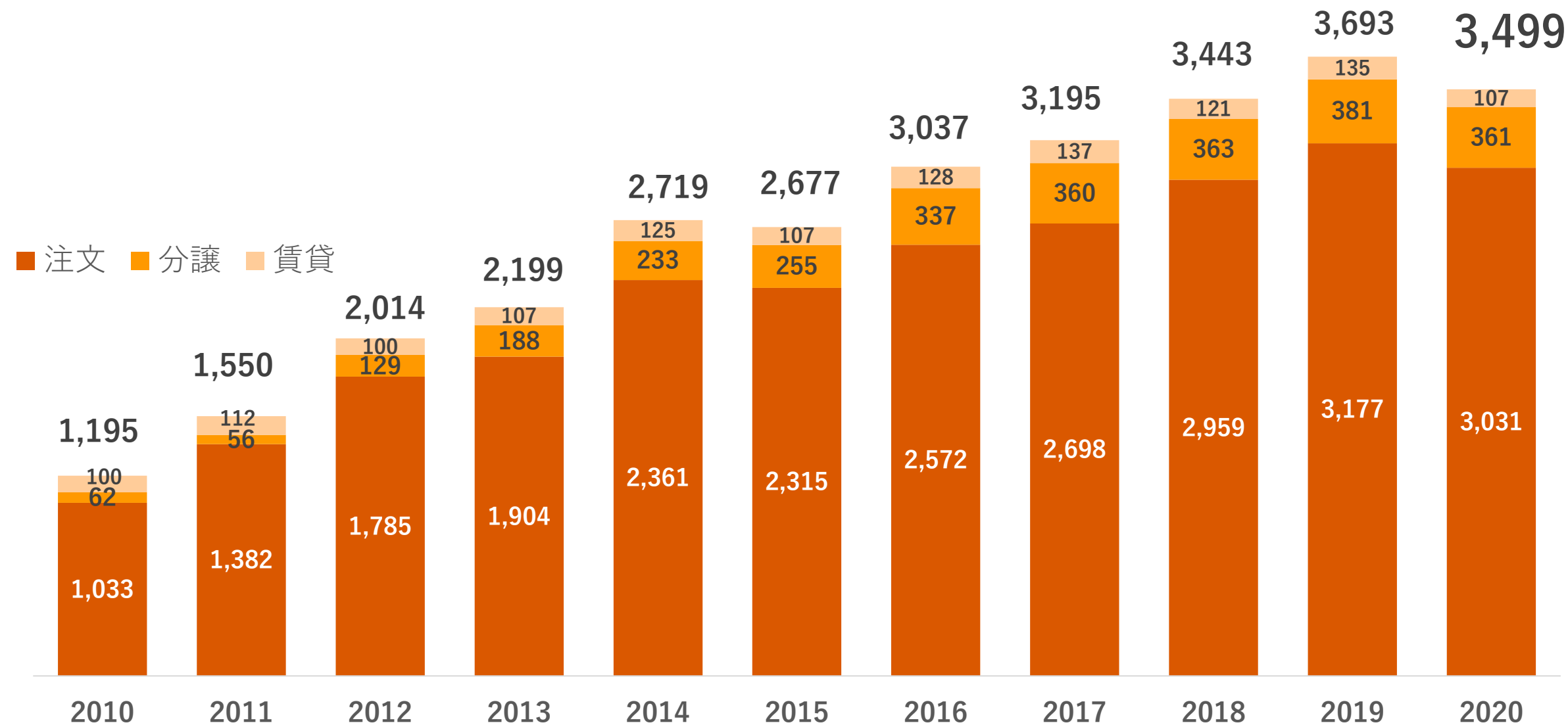
営業利益率

7.5% 以上

業績推移(2010→2020)



住宅販売棟数推移



本資料の取扱について

本資料に記載されている業績予想及び将来予測に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて判断したものであり、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

また、本資料の作成に当たっては、記載されている情報に誤り・遺漏等が無いよう細心の注意を払っておりますが、その情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。

お問合せ先

ヒノキヤグループ株式会社

総合企画部IR・企画課

K-kikaku@hinokiya.jp

IR Mail配信登録 →

<https://www.hinokiya-group.jp/>



コーポレートサイト

<https://www.hinokiya-group.jp/>



IR情報

<https://www.hinokiya-group.jp/ir/>

HINOKIYA

ヒノキヤグループ